

● 必修

DP1 社会生活を営む上で、多様な文化や背景を理解し、意見を交わすことができる知識とコミュニケーション能力を有している。

DP2 グローバル社会に対応でき、身体的・精神的な健康情報を把握し、必要な行動を示すことができる自己管理能力を有している。

DP3 理学療法学領域の知識と技術および態度、それらを適切に活用できる実践力と責任感、倫理観を有している。

DP4 一般常識を大切に考え、社会や障がいのある人に対して、積極的に健康管理・医療・スポーツなどを介しながら貢献できる能力を有している。

国 家 試 験

4

臨床実践能力の獲得

● アドバンス
セミナーⅡ

3

専門的思考の育成

● アドバンスセミナー
Ⅰ A・Ⅰ B

2

専門分野の基盤構築

● フレッシュセミナー
Ⅱ A・Ⅱ B

1

教養と専門分野への動機付け

● フレッシュセミナー
Ⅰ A・Ⅰ B

年次

学びのステップ

学部共通
セミナー
コア
カリキュラム

教養科目
社会人としての教養を
身につける

専門基礎科目
医療人としての基礎知識を身につける

専門科目
理学療法士としての基礎知識と応用力を身につける

専門科目
臨床実習

●基礎医療英語Ⅰ
●基礎医療英語Ⅱ
●コンピュータ演習海
ホリデー留学
デンバー研修
人間関係論
コミュニケーション論
異文化理解
●統計基礎
社会福祉原論
社会保障
ボランティア論
●教育原理
レクリエーション論
レクリエーション実技Ⅰ
レクリエーション実技Ⅱ
健康とスポーツ
障がい者スポーツ

●人体の構造Ⅰ
●人体の機能Ⅰ

●人体の構造Ⅱ
●人体の機能Ⅱ

●運動学Ⅰ

●運動学Ⅱ

●人体の構造・
機能（実習）

●運動学（実習）

●リハビリテーション概論
●人間発達学
●臨床心理学
●リハビリテーションと
救急救命

●精神医学
●病因病態学
●リハビリテーション医学
●リハビリテーションと薬
●リハビリテーションと栄養

●臨床医学Ⅰ（内科系）
●臨床医学Ⅱ（外科系）
●臨床医学Ⅲ（神経系）

●画像評価学

●多職種連携の理解
●地域包括ケアシステム論

●基礎理療法学
●理学療法評価学Ⅰ
●物理療法学

●基礎理療法学実習

●理学療法評価学Ⅱ
●理学療法治療学Ⅰ（運動系）
●理学療法治療学Ⅱ（中枢神経系）
●理学療法治療学Ⅲ（内部障害系）
●理学療法治療学Ⅳ（小児・神経系）
●日常生活活動技術学
●義肢装具学
●運動療法技術学

●理学療法評価学実習Ⅰ
●理学療法評価学実習Ⅱ
●物理療法学実習
●日常生活活動技術学実習
●義肢装具学実習

●地域理学療法学Ⅰ（高齢者）
●地域理学療法学Ⅱ（身障・難病・小児）
●徒手療法学
●理学療法研究方法論

●理学療法治療学実習Ⅰ（運動系）
●理学療法治療学実習Ⅱ（中枢神経系）
●理学療法治療学実習Ⅲ（内部障害系）
●理学療法治療学実習Ⅳ（小児・神経系）
●理学療法研究方法論実習Ⅰ
●理学療法研究方法論実習Ⅱ
●臨床技能演習

●職業倫理職場管理学
●予防理学療法学

●特別総合演習Ⅰ
●特別総合演習Ⅱ

卒業研究

臨床実習Ⅳ

臨床実習Ⅱ
臨床実習Ⅲ

臨床実習Ⅰ